

超満員、どうやって遊ぶの？ —小松学童保育所—

陳情採択されたのに

小松学童保育所の概要

定員	60人
弾力運用人数	75人
施設の面積	76.95㎡
構造	軽量鉄骨2階建
建築年次	S59年

のトイレ、障害者用トイレもない、手洗いもトイレ内に設置されていると、子どもたちが不便な生活を強いられることが、切々と書かれていました。

2011年3月議会、厚生常任委員会で、小松学童父母の会から出された「小松児童育成センターにおける入所希望者へ柔軟な受け入れおよ

び施設老朽化に伴う建替えに対する陳情書」は、日本共産党をはじめ、賛成多数で採択されました。

小松学童保育所は、昭和59年建設で、市内では2番目に古い施設です。

「陳情書」には、男女共用

「3月当時、職員が学童を訪問し、施設を確認し、校長からも運動場の現状を聞いた」と、答弁。

それだけで終わっていません。「現状を把握しているのなら、早急に建替えを」と厳しく、再度求めました。

「これでは子どもがかわいそう

私も、現地を見ておこうと小松学童を訪問しました。

私が行った日は、学校の行事があつて、子どもたちが普段より少ないとのことでした。机を並べておやつを食べていましたが、ほんと、ぎゅうぎゅうです。

ひとりあたりの面積は、わずか1㎡です。

全介助が必要な、4年生

の女の子がいましたが、おむつ交換の場所がありません。エレベーターは、車いすを乗せたら、介助者が壁にへばりつく状態で乗らなければならぬほど小さいものです。先生が「なんで、こんなに小さいエレベーターを付けるんでしょう」と、言われましたが、ほんと、その通りです。

劣悪な保育環境を改善させるまで頑張ります。

